

子育て世帯への臨時給付金

現金10万円を24日に一括支給

春日部市は、コロナ禍で給付金を必要としている家庭に一日も早く届けるため、児童手当・児童扶養手当受給者に24日（金）現金10万円を一括で登録口座に振り込みます。

高校生世代のみの世帯申請必要・1月末から振込

振込対象者者数・給付総額は次の通りです。

①12月24日（金）振込

対象者／申請不要の方

（児童手当・児童扶養手当 受給者）1万3773人 給付総額24億2500万円
（対象児童数2万4250人）

②1月末から順次振込

対象者／申請が必要な方

（高校生世代のみの世帯の 支給対象者・公務員）
約5千人
給付総額6億円
（対象児童数約6千人）

政府の対応の遅れに自治体混乱

24日に振込の方には、すでに先行給付分として現金5万円を給付する準備を進めていたため、すでに案内通知を発送しました。この通知のなかで「先行給付分以外は、クーポンを基本とし給付する」ことを案内しています。しかし、全額現金一括給付することになり、方針変更については22日に改めて通知します。

このようなことになった原因は政府の対応の遅れによるものです。

市議会が「10万円一括給付」の緊急要望



岩谷市長（中央）に緊急要望した市議団。左から松本コロナ特別委員会副委員長、小久保コロナ特別委員会委員長、栗原議長、水沼副議長

10日（金）市議会新型コロナウイルス感染症対策特別委員会は、岩谷市長に「18歳以下への現金給付・クーポン付与に関する緊急要望書」を提出することを全会一致で決定しました。

要望内容は「①年内に全額現金一括給付を検討すること。②全額現金の財源については、全国市長会を通じて、国に強く要請すること」でした。

13日（月）岩谷市長に、栗原議長、水沼副議長、小久保コロナ特別委員会委員長、松本同副委員長の4名が代表して要望しました。（写真上）市民からも現金給付を望む声が多くありました。市議会の強い要望と、国会審議のなかで、全額現金

給付の要件を緩和するとの方針が示されされたことから、春日部市でも、「クーポンではなく全額現金給付」となりました。

岸田政権が自治体を混乱させたことは問題です。

